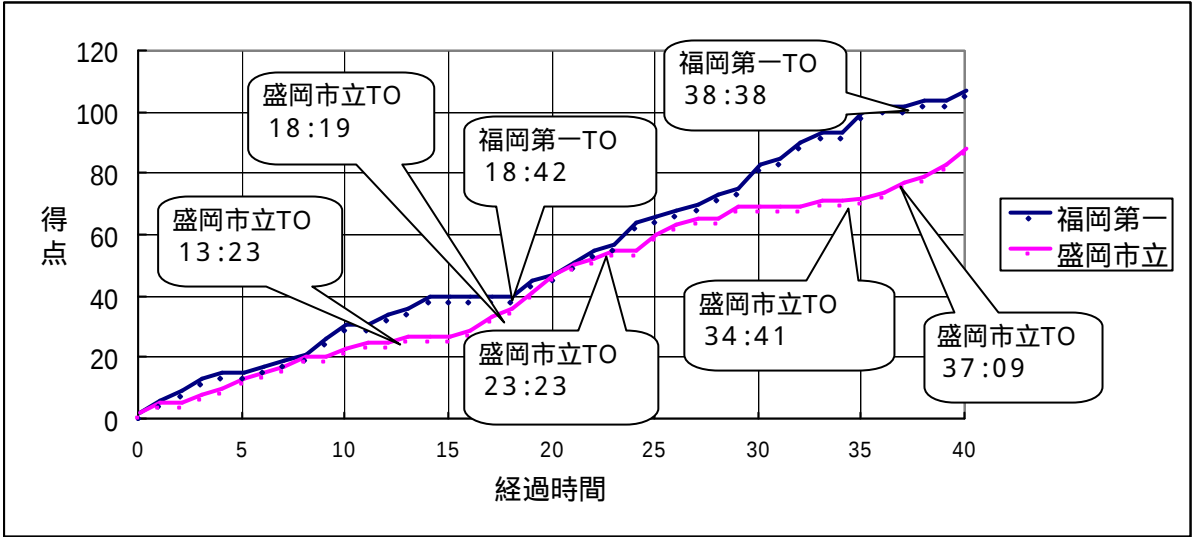


大会名	平成19年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会第60回全国高等学校バスケットボール選手権大会	E1	10:00	男子 3回戦	
期日	2007年（平成19年）7月31日（火）	福岡第一 105 福岡 ○	$\left[\begin{array}{r} 29 - 21 \\ 16 - 24 \\ 36 - 22 \\ 24 - 19 \\ - \end{array} \right]$	86 ●	盛岡市立 岩手
会場	唐津東高等学校				

主審 水 島 真一郎 副審 有 澤 重 行



福岡第一

	No.	氏 名	点	3P	2P	FT	F
○	4	大谷 拓也	8	0	4	0	1
	5	花野 友昭	0	0	0	0	0
○	6	狩野 祐介	20	6	1	0	0
	7	中村 圭秀	0	0	0	0	0
	8	玉井 勇氣	11	3	1	0	2
	9	増子 良平	0	0	0	0	0
	10	セックエルビ イ'ラマ	5	0	2	1	1
○	11	早川 ジミー	24	0	12	0	4
○	12	熊 吉	11	0	5	1	3
	13	園 幸樹	0	0	0	0	0
	14	並里 成	26	1	11	1	3
	15	和田 直樹	0	0	0	0	0
	16						
	17						
	18						
コーチ		井手口 孝					
		合計	##	10	36	3	

盛岡市立

	No.	氏 名	点	3P	2P	FT	F
	4	井上 豊貴	11	1	3	2	4
○	5	鎌形 信仁	27	3	6	6	3
	6	小林 広之	0	0	0	0	0
○	7	佐々木 洸	25	7	2	0	0
○	8	熊谷 克哉	11	0	3	5	0
○	9	高橋 旦磨	0	0	0	0	3
	10	鈴木 優也	0	0	0	0	0
	11	佐藤 駿	0	0	0	0	0
	12	大森 怜	0	0	0	0	0
	13	佐々木 恭	12	0	6	0	4
	14	田中 諒 洸	0	0	0	0	0
	15	似鳥 晃太	0	0	0	0	0
	16						
	17						
	18						
コーチ		室岡 茂彰					
		合計	86	11	20	13	

○はスターター（はキャプテン） 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦 評

エース並里を筆頭にバランスの取れた布陣で3年ぶりの優勝をめざす福岡第一と内外角こなすエース鎌形を中心とした破壊力抜群の攻撃力をもつ盛岡市立の3回戦。最後まで粘る盛岡市立であったが総合的に勝る福岡第一がベスト8へ順調に駒を進めた。第1P共にハーフコートマンツーマンで開始。福岡第一 #14並里がブレイクで先制すると盛岡市立 #5鎌形がすかさず 3Pで返す。盛岡市立は外角陣が積極的に3Pを狙う。対する福岡第一は中 外とバランスよく攻め、8点リードで終了。第2P福岡第一は #14並里の個人技でリードするも、盛岡市立の3 - 2ゾーンを前にリズムが狂う。この隙に盛岡市立は #13佐々木のおフェンスリバウンドで流れを引き寄せ、さらにオールコートでディフェンスを仕掛け #4井上、#5鎌形のドライブインで一気に同点に追いつき、勝負は後半へ。第3P序盤から一進一退の攻防が続く。福岡第一 #11早川が1対1で連続10得点をあげると、盛岡市立はオフェンスリバウンドからチャンスをつなぎ、#7佐々木の3Pで必死に食らいつく。残り2分、福岡第一 #14並里のブレイクで一気に流れが傾き81対67で第4Pへ。何とか追いつきたい盛岡市立であるが、波に乗った福岡第一のオフェンスは止められない。#14並里の連続ブレイクに、盛岡市立はたまたまずタイムアウトをとり選手達に檄が飛ばす。しかし盛岡市立の必死のディフェンスを前に福岡第一は #6狩野の3Pや #11早川の1対1で確実に得点を重ね 105対86で終了。

記載者 江口 智徳 (所属) 佐賀県バスケットボール協会